

NPO法人再生医療推進センター平成30年度総会議事録

日時：平成30年 5月 26日（土） 18時00分～18時55分

場所：大クマ眼科(函谷銚ビル4階；京都市下京区)

出席者：井上一知 大熊藍子 山岸久一 饗庭一慶 藤井康雄 守屋好文 川原美枝
宇高節子 井上公子

議事の経過の概要及び議決の結果

井上理事長より、平成30年度総会の開催が宣言され、以下の報告・審議が行われた。

1. 平成29年度会計報告

川原理事より、平成30年3月31日現在の特定非営利活動に係る貸借対照表、ならびに平成29年4月1日から平成30年3月31日までの特定非営利活動に係る事業会計収支決算の報告がなされた。

井上理事長より、平成29年度にご寄付を賜った方々が報告された。

法人様：株式会社桶谷製作所

個人様：神田義次様、山本拓宏様、堀川宏子様、みやぎちはる様

2. 平成30年度予算案

川原理事及び井上理事長より、平成30年4月1日から平成31年3月31日までの、特定非営利活動に係る事業会計収支予算案の報告がなされた。

3. 認定法人取得について

川原理事より、数年前より市の管轄となり、年々緩和されつつあるが、申請には膨大な時間と提出書類があるため、進んでいないのが現状である。川原理事に、認定法人取得申請手続きを引き続き担当していただくこと及び、有志の理事に川原理事をサポートしていただくことが報告された。

4. 理事任期の件について

理事19名の再任が報告された。

・再任理事名

井上一知、大熊藍子、角昭一郎、饗庭一慶、金澤正憲、河瀬斌、川原美枝、木村正弥、古賀まり、小茂川邦彦、篠原茂生、萩原明郎、日裏彰人、藤井康雄、星野順一、宮本正章、山岸久一、守屋好文、徳永立子

・監事

大熊正人

5. 特別会員・関連法人

井上理事長より、特別会員・関連法人の紹介がなされた。

特別会員：公益社団法人日本理学療法士協会、日本網膜色素変性症協会

関連法人：特定非営利活動法人日本せきずい基金

6.役員推薦

井上理事長より、重松一生氏(国立病院機構南京都病院神経内科)を、新理事として推薦された旨の報告がなされた。

7.疾患別の再生医療の現状

守屋理事より、疾患別の再生医療の現状と題した資料を事前に作成いただき、心不全、脊髄損傷、脳梗塞、糖尿病、歯周病、変形性膝関節症、肝疾患、腎不全、パーキンソン病、加齢黄斑変性・目の疾患、筋委縮性側索硬化症について、疾患、使用細胞、研究機関、研究概要、研究段階についての的確にまとめて説明していただいたため、とてもわかりやすく、現状を把握することができた。その資料を基とし、山岸理事より最新の脂肪肝細胞の臨床研究状況に関する堤言があり、再生医療の臨床応用の現状と将来展望について、詳細かつ積極的、活発な議論が展開された。

8.今後の活動方針・その他

(1)当NPO法人の一つの柱であった講演会活動に関しては、これまで全国で26回にわたり講演会を開催し、再生医療の啓発という目的を十分に達成し得た。今後は、ホームページを舞台として、再生医療相談室におけるボランティア活動及び、再生医療に関する原稿の掲載を通じて、再生医療の啓発を推進していく。

(2)ホームページについては、担当理事の篠原理事の献身的な御尽力により、コラム欄(元気の出る再生医療)における最新情報を取り入れた再生医療関連の原稿の掲載がなされている。掲載原稿の執筆に関しては篠原理事、及び守屋理事の熱意あふれる御尽力に深謝したい。今後ともに各理事の高い専門性と幅広い知識を活かし、生物学・医学・工学的な幅広い視野から、再生医療に関する実用化の現状と将来展望についての最新情報を発信していく。今回新たに理事に加わっていただいた重松理事は、神経内科が御専門で、しかも再生医療に並々ならぬ熱意を抱いておられ、新しい視点からの情報発信に期待するところ大である。

当ホームページは個人の悩みや質問に真摯に答える「再生医療相談室」と、再生医療についての正しい知識と現状及び将来性について啓発する情報発信を両輪としていく。当ホームページがより幅広く認知され、再生医療の発展に益々貢献できるようになることを目指していく。

以上、この議事録が正確であることを証します。

平成30年5月26日

議 長 井上 一知

理事人 大熊 藍子

同 角 昭一郎